

2022 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	神奈川県環境学習リーダー会・神奈川県環境科学センター(共催)				
題名・副題	2022 夏休み子ども環境体験教室(全5教室) ~君たちの未来のために~				
月日・時間	2022年8月1日(月)~5日(金)、10:00~12:00				
開催場所	神奈川県環境科学センター				
部会・講師名	コーディネート 濱辺謙吉	参加数	延べ62名	講師数	延べ19名

写真・画像



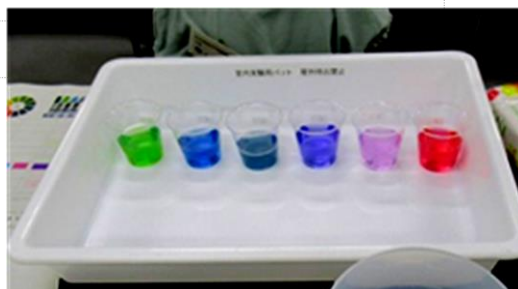
手作りせっけん



ソーラー風車



空気砲



紫キャベツ



つかめる水

成果解説

今年は、コロナ禍の影響で3年ぶりに5教室が開催されました。感染防止のため各教室定員14名で行いました。

●「手作りせっけんを楽しもう」では、生活の中での水の使われ方、石けんと合成洗剤の違いなどを学習し、安全な市販の粉せっけんと食品等を使用して「こねこね石けん」を作りました。(飯田富佐江)

●「太陽で回るソーラー風車を作ろう」では、太陽のエネルギーについて詳しく学習した後、ソーラー風車を工作しました。出来上がった風車は手のぬくもりでも回転し、子どもたちは感動を得ました。(三田重雄)

●「空気のパワー実験」では、普段は意識しない空気存在を認識し、地球温暖化、ストップ温暖化などについて学習しました。その後、空気砲を作って、空気の圧力が空間を移動して力になることを体験しました。また、エアバックを作って、呼気には、重い本やペットボトル、自分自身までを持ち上げる力があり、小さな力が大きな力を生む「パスカルの原理」を実感しました。(長村吉洋)

●「紫キャベツで色が変わる水マジック」では、地球環境の水、水の三態、身体や野菜の中の水、酸とアルカリ、水質汚染など水環境について広く学習しました。実験は、紫キャベツの色素を水で抽出し、弱アルカリ性から酸性域まで変化させ、抽出液の色の変化を観察しました。(長村吉洋)

●「人工の雲とつかめる水を作ろう」では、水の循環、雲の生成、地球温暖化と私たちにできる対策などを学習しました。実験では、PET ボトルに人工の雲を作り、海藻起源のアルギン酸を使って大きなつかめる水を作りました。(大岩俊雄)

◎なお、一部の講座の中で、苛性ソーダを使用した廃油石鹼の作り方が紹介されましたが、苛性ソーダは強アルカリ性で毒物劇物取締法の「劇物」に該当しますので、絶対に使用しないでください。(濱辺謙吉)